

事業番号	15 03 04	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費			担当課	部局	教育委員会事務局		
					課・室	高校教育課		
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成			E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開				実施期間	S27 ~		

1 事業の概要

目指す姿	理科教育を通じて科学的な知識、技能及び態度を習得させるとともに工夫創造の能力を養う。また、専門教育により最新の知識を身につけ、産業社会を支える人材を育成する。																																									
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 理科教育設備 平成26年度からの新学習指導要領完全実施に向けた、5か年整備計画(平成21~25年度)が平成27年度まで延長されたため、必要な設備を整備しているが、整備基準額に対する本県の整備率は平成25年度末で9.8%にとどまっている。老朽設備の整備を年4校程度実施。 産業教育設備 職業科設置校(32校)からは約200点、7億円を超える設備の更新要望が出されているが、平成26年度は14品目の更新にとどまっている。学習用の電子計算組織は6年リースで整備している。 																																									
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 県立高等学校の設備整備事業 国庫補助(理科教育設備整備費等補助金)の活用																																								
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)																																									
	<ul style="list-style-type: none"> 理科教育設備の整備率の向上(0.1%) 老朽設備の更新(理科教育設備及び産業教育設備) 																																									
	② 事業内容 (単位:千円)																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H27事業実績</th> <th colspan="2">H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理科教育設備整備</td> <td>直接</td> <td>・整備率向上のための設備整備 ・老朽化した設備の更新5品目(5校)</td> <td>11,914</td> <td>10,815</td> <td>11,444</td> </tr> <tr> <td>産業教育設備整備</td> <td>直接</td> <td>・設備の修繕・老朽化した設備の更新14品目(14校) ・電子計算組織等のリース・運営・維持</td> <td>258,317</td> <td>256,759</td> <td>257,663</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>270,231</td> <td>267,574</td> <td>269,107</td> </tr> </tbody> </table>				項目	実施方法	H27事業実績	H27		H28	(当初)	(決算)	(当初)	理科教育設備整備	直接	・整備率向上のための設備整備 ・老朽化した設備の更新5品目(5校)	11,914	10,815	11,444	産業教育設備整備	直接	・設備の修繕・老朽化した設備の更新14品目(14校) ・電子計算組織等のリース・運営・維持	258,317	256,759	257,663															合計	270,231	267,574
項目	実施方法	H27事業実績	H27					H28																																		
			(当初)	(決算)	(当初)																																					
理科教育設備整備	直接	・整備率向上のための設備整備 ・老朽化した設備の更新5品目(5校)	11,914	10,815	11,444																																					
産業教育設備整備	直接	・設備の修繕・老朽化した設備の更新14品目(14校) ・電子計算組織等のリース・運営・維持	258,317	256,759	257,663																																					
		合計	270,231	267,574	269,107																																					

事業	区分(単位:千円)		25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額	前年度繰越				
当初予算		265,559	270,394	270,231	269,107	
補正予算		358,476				
合計(A)		624,035	270,394	270,231	269,107	
コスト	Aの財源					
	一般財源		260,035	264,878	264,824	263,917
	県債					
	国庫支出金		5,524	5,516	5,407	5,190
その他		358,476	0	0	0	
決算額(B)		613,160	263,037	267,574		
概算人件費	職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.50
	概算人件費(C)		4,129	4,129	4,138	4,138
	概算事業費(B(A)+C)		617,289	267,166	271,712	4,138

項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
理科教育設備の整備	9.90%	10.0%	10.0%	達成	10.1%
老朽産振設備の更新	13校	6校	14校	達成	6校
老朽理科設備の更新	4校	4校	5校	達成	4校

目標に対する成果の状況	・事業により、老朽理科設備の更新を5校、老朽産振設備の更新を14校で実施することができ、期待どおりの成果であった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・設備の老朽化により設備整備のニーズが高まっており、学習環境の向上を図るため老朽設備の更新を継続的に実施していく。
--------------------	--